

目標: イエス様がこの世界に向ける眼差しの優しさ・温かさを知り、それが自分にはなお一層向けられていることを知る。  
 聖句: 「今日は野にあって、明日は炉に投げ入れられる草でさえ、神はこのように装って下さるのなら、あなたがたに、それ以上良くして下さらないはずがあ  
 時間: 10分  
 道具: ホワイトボード、ペン、庭などに咲いている雑草の花。、講壇の花、ルーペか虫眼鏡  
 対象者: 小6×1 小5×1 小4×1 小3×1 小3×3 小1×2 未就園児×5  
 留意点: テキスト研究が言う「集中構造」は、子供たちが混乱する恐れが強いので、触れない。またテキスト全体の網羅は多すぎるので避け、28節だけに集中

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	(雑草の花を見せて)この花をどう思いますか。 きれい? (講壇の花を指さして)きれいですね この花の名前を知っていますか。  補助)どちらがきれいだと思いますか。	・きれい ・きれいじゃない  ・百合 ・菊 ・その他 ・分からない	自由に感想を述べさせる  講壇の花はきれいなはずなので、雑草の花の矮小さに気付くように比べさせ、次段への導入とする。 回答内容そのものに重点は置かない。 花をよく知っていたら、褒めてあげたい。  あくまで感想にとどめる。
課題探究	6分	ところがイエス様は、雑草の花でさえ、素晴らしくきれいだと言われました。 皆さんどう思いますか。  ルーペ・虫眼鏡で雑草を見てみましょう。  よくできていると思いませんか。 イエス様の言われたことは本当だと思いますか。  イエス様はわたしたちについても述べておられます。 何と言っていますか。  野の花よりずっと良くしてくださっていると言われます。	・うん ・凄い  ・あなたがたに、それ以上良くして下さらないはずがあるか	イエス様の御言を提示するのだが、本日の暗誦聖句は長すぎるので、短くまとめた趣旨を述べた方がよい頭だけで返答は求めない。  ルーペは、複数あった方がよい。 しばらく観察させる。 詳しく見たら、凄かったという体験をさせたい。 若干誘導的な側面があってもいいと思う。要は、イエス様の眼差しに子供自身を気づかせたいのである。 少し場が落ち着くまで時間を置きたい。 暗誦聖句を読む。 子供自身で、暗誦聖句の板書や聖書から、この文言を応えさせたい。 これはイエス様の宣言であるので、実際そうかどうか疑問をぶつけるべきではないだろう。
まとめ	2分	このイエス様のお言葉を、感謝して受け取りましょう。 暗誦聖句		182号テキスト全体のテーマからの反映として、この言を「信」じさせたい。